

企業・団体



事業

STB (SetTopBox) ログ解析による、CATV ユーザーの視聴動向分析

事業区分 「ビッグデータ」

実施時期 (又は期間) パッケージリリースより約 3 年経過 (現状ではスタンドアロンでの利用)

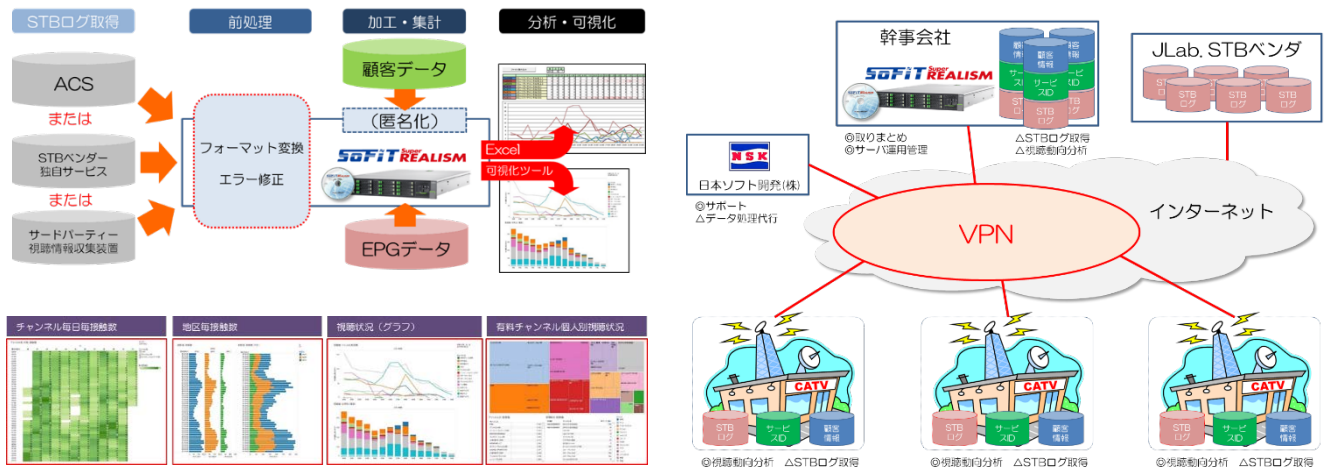
概要

ケーブルテレビを視聴するための選局装置である STB (SetTopBox) のログデータとチャンネルデータ、顧客データをマッピングすることで、ユーザーの視聴動向を分析し、CATV 事業者の求める意思決定を支援。

- ① 現在のケーブルテレビ加入者は約 2980 万世帯で世帯普及率は 52% を越えている (2017 年 8 月 29 日 総務省情報政策局「ケーブルテレビの現状」より) が、地上波の様な視聴率調査は行われていない。
- ② STB のログデータは件数・サイズ共に膨大であり、そのマッピングや加工分析を行う為には、超高速なビッグデータ処理ツールが必要となる。
- ③ CATV 事業者は放送事業者であると同時に地域のインターネット接続プロバイダも兼ねるケースが多い。加えて、動画の視聴形態もこれまでの地上波・BS・CS に加え、SNS や動画配信等の OTT サービスの普及が急速に進んでおり、これらも含めた統合的な視聴動向の分析が求められている。

これらは比較的シンプルなデータ処理であるもののデータ量が膨大である為、ビッグデータ処理に特化した仕組みが求められる。

イメージ図



効果・成果

- ① データに裏打ちされた正確な視聴動向を把握することで、番組編成や番組買い付けコスト、広告枠価格の適正化を図れる。
- ② 利用頻度の低いスリープユーザーを把握することで、適切な解約防止策が実施可能。
- ③ ビッグデータ処理に特化したプラットフォームを持つことで、将来的な複合メディア (放送+通信) を統合した視聴動向分析に備えることが可能。
- ④ SMS 等外部システムとの連携や機能拡張にも対応しており、システム改変費用を大幅に削減可能。
- ⑤ 顧客データ等を匿名化処理することで、共同利用によるコスト削減が可能。

担当部署

日本ソフト開発株式会社 (滋賀県米原市米原西 2 3) 地域主権システムプロジェクト本部
担当者: 地方創生担当 光山和弘 Tel: 0748-32-3663 e-mail: sousei@nihonsoft.co.jp
URL: <http://www.nihonsoft.co.jp/>